

令和8年度 黒沢尻北学校教職員 働き方改革アクションプラン

～「持続可能な働き方目標(SWSGs)の設定と実践～」

黒沢尻北高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R7年度:0人(参考:R5年度:4人、R6年度:5人)
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R7年度:15.7日(参考:R5年度:15.5日、R6年度:16.3日)
- ◆ 一部部活動の募集停止が行われた(柔道部、自然科学部研究部門)

【定性的現状】

- 教職員の意識
・ICT機器の利活用及び情報の共有が進んでいる。
・仕事量の削減、「スクラップ」は容易ではない。
- 管理職のマネジメント
・ICT機器の利用研修や仕事の平準化を通し、業務改善の取組を進めている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 時間外在校時間が月80時間以上ゼロ人を継続する。
- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を38時間とすることを目指します。
- 年次休暇の平均取得日数を16日以上を目指します。

【目指す姿】

- ・ 教職員一人一人がやりがいを感じながら業務に取り組むことで、質の高い教育を持続的に提供する。
- ・ 教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。
- ・ 教職員自身のウェルビーイングを確保する。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職が、休暇習得について積極的に呼びかけを行います。 ・ 勤務時間外在校状況により、該当教職員に声掛けし、健康確保の観点から、面談をします。 ・ PTA活動等における特割制度の積極的利用を呼びかけます。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改善等の話し合いを持ち、職員発案による業務改善を推進します。 ・ ICT機器の積極的活用を推し進め、業務効率化を図ります。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革の取組についてHP等で発信し、業務削減について理解を進めます。 ・ 部活動については、外部人材を積極的に活用し、教職員の負担を軽減します。
令和8年度重点取組事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度から新たに週休日や長期休業日改革に取り組めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 学校運営協議会を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。